

平成 26 年 度

事業計画書

平成 26 年 4 月 1 日から  
平成 27 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 科学技術広報財団

はじめに

公益財団法人科学技術広報財団（以下「財団」という）は、1973年（昭和48年）に「科学技術に関する広報啓発を行い、もってわが国の科学技術の振興に寄与する」ことを目的に設立され、設立以来の目的を変えずに今日に至るまで幅広い広報活動を続けており、2012年11月に公益財団法人に移行しました。

平成26年度の事業の実施にあたっては、今日の科学技術の進歩の中で、常に時代の変化に対応して、科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進のため、科学技術に関する情報を広く一般社会に発信し科学知識を普及すること、また、科学技術広報に関わる人材の育成を行うなど、広範な科学技術に関心と理解を深める広報活動を進めていきます。

引き続き財政的に厳しい状況下ではありますが、新しい事業機会を得、経費の節減を図りながら収支の改善、収益の確保に努め、安定した経営基盤の確立を目指してまいります。

## I. 全体運営

### (1) 理事会の開催

通常理事会を6月及び3月に開催する。必要に応じて臨時理事会を開催する。

### (2) 評議員会の開催

定時評議員会を6月に開催する。必要に応じて臨時評議員会を開催する。

### (3) 企画委員会

財団の新規事業企画及び推進のため、外部の専門家による委員会を開催する。

### (4) 広報活動

最新の科学及び技術に関するトピックスを提供するほか、科学技術に関わる法人・団体とのネットワークを充実させることにより、ホームページを通じた財団広報活動の活性化を図る。

## II. 事業

### 1. 科学技術の広報に関する調査研究及び刊行物等の編集及び頒布

科学技術に関するポスター及びグッズの頒布を通して、広く一般の科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進に寄与する。

#### (1) 科学ポスターの企画・作成及び提供

科学に対する興味の啓発のため文部科学省が制作した科学ポスター（一家に一枚シリーズ）を複製し有料頒布する。また、最新の科学研究成果への興味喚起及び知識の理解増進を目的として作成した財団オリジナル科学ポスターの提供を行う。

書店、科学館など、一般に提供が可能となるよう引き続き販売委託機関の拡大に努めるとともに教育機関等への広報活動を推進する。

#### (2) 科学グッズの企画・開発及び提供

広く一般向けに科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進を図るため、商品の企画・開発をおこない、科学館などの教育文化施設のショップなどに提供する。

## 2. 科学技術に関する広報啓発並びに人材の育成

科学館などの教育文化施設の運営及び運営支援を行うことにより、科学知識の普及啓発並びに科学技術広報に関わる人材の育成に貢献する。

科学技術に関する展示・映像コンテンツの企画・開発を行い、提供・巡回することにより、広く一般への科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進に寄与する。

### 2-1. 科学館の運営及び運営支援

- (1) 新潟県立自然科学館の指定管理者（民間事業者との共同事業）として、常設展示の運用、一部展示の更新、特別展・実験教室の開催など、引き続き質の高い運営をおこなう。  
次年度に指定管理者の更改（公募予定）を迎える。継続しての受託を目指し応募する。
- (2) 神戸市立青少年科学館の指定管理者（民間事業者との共同事業）として、新たに4年間の運営が始まる。  
常設展示の運用、特別展・実験教室の開催、プラネタリウム映像の制作・提供など、質の高い運営をおこなう。
- (3) 横浜こども科学館に対する運営協力として、展示運営及び教育普及活動の企画支援をおこなう。

### 2-2. 展示・映像コンテンツの企画・開発及び提供

- (1) 展示コンテンツの開発  
「(仮) やまなしロボット展」「(仮) 恐怖の科学展」ほかの企画・制作及び提供をおこなう。  
ドラえもん、アンパンマンを冠とした企画展を実行委員会方式（共同事業）にて取り組むための企画提案をおこなう。
- (2) プラネタリウム映像制作  
新潟、神戸、横浜の科学館と連携して、番組制作に取り組む。
- (3) 財団所有の展示・映像コンテンツの提供
  - ①「サイエンスクエスト」を青森県立三沢航空科学館（7/19～8/24）へ提供する。
  - ②「海底二万里の世界」を愛媛県立総合科学博物館（4/19～6/22）及びアクアワールド茨城県立大洗水族館（7/19～9/15）へ提供する。  
引き続き、財団所有展示コンテンツ及び、プラネタリウム映像「アイスワンダーランド」のプロモートを推進する。

## 3. 科学技術普及・利用に係る広報・支援及び施設・展示の企画・立案

科学技術関連団体の広報活動を支援する。また、広く団体・企業の依頼により、団体・企業の持つ科学技術の普及と利用促進を目的とした広報に関わる活動の支援及び科学館などの教育文化施設の施設・展示に関わる企画・立案を収益事業としておこなう。

- (1) 科学技術関連団体の広報活動支援  
日本科学オリンピック推進委員会が開催する各種国際科学オリンピックの情報及び地学の日本委員会事務局への支援業務をおこなう。
- (2) 団体・企業の広報活動支援（収益事業）  
団体・企業からの依頼により、団体・企業の持つ科学技術の普及と利用促進を目的とした広報活動への支援をおこなう。

#### 4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- (1) ロボット研究開発技術のアーカイブ化  
多数のロボット研究に携わってきた研究者の退職（研究室の閉鎖）と共に散逸してしまう恐れがあるロボット研究の、これまで蓄積されてきた知見・技術の成果のアーカイブ化を引き続き行う。  
科学館等の展示及び企画展として広く一般に公開する場を通して、科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進につなげていく。

以上